



事業実施計画の申請時点での、KPIの目標値設定	(継続事業のみ) キ. 平成30年度増加分	→	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
	(継続事業のみ) ク. 令和元年度増加分	→								
	(継続事業のみ) ケ. 令和2年度増加分	→								
	(継続事業のみ) コ. 令和3年度増加分	→								
	(継続事業のみ) サ. 令和4年度増加分	→								
	シ. 上記キ～サの累計 (自動表示)	→	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]	目標値 (増分)	[単位]
	ス. 備考欄	→	目標値や目標年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。							
KPIの実績値 ※見込みではなく実績をご記載ください。	(継続事業のみ) セ. 平成30年度増加分の実績値	→	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]	実績値 (増分)	[単位]
	(継続事業のみ) ソ. 令和元年度増加分の実績値	→								
	(継続事業のみ) タ. 令和2年度増加分の実績値	→								
	(継続事業のみ) チ. 令和3年度増加分の実績値	→								
	ツ. 令和4年度増加分の実績値	→	目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い		目標値に対する達成度合い	
		→	%		%		%		%	
	テ. KPI増加分の累計 (実績)	→	実績値 (増分) [単位]		実績値 (増分) [単位]		実績値 (増分) [単位]		実績値 (増分) [単位]	
ト. 備考欄	→	実績値や年月を、半角数字で記入することが出来ない、その他上表に記載困難な場合には、以下備考欄をご活用ください。								
ナ. 実績値累計 (テ) の目標達成・未達理由 (達成または未達になった理由、及び未達の場合は今後の解決策 (案) )	→									

○交付金事業の効果 (地方創生への効果) 【全員】

3. 本事業の効果について、お聞かせください。なお、広域事業の代表及び単独事業は、設問2の「目標値に対する達成度合い」の回答結果等を踏まえて総合的にご判断の上で、お選びください。また、具体的なような点で事業の効果を感じたかについて内容をご記入ください。その際、関連する業務やより上位の業務のKPIや統計指標に改善が認められるなど、効果が定量的に把握・示唆された場合、その内容もご記載ください。

事業効果	事業効果の内容・詳細
② 地方創生に相当程度効果があった	本事業により、観光各主体に対する最優先の改善項目を把握することができ、観光地としての高次元向上を図るための施策実行に活かすことができました。
<凡例：選択肢>	
① 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
② 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えない場合

C. 自立性担保の進捗

○自立化の進捗状況 【全員】

4. 実施計画をご覧ください。【全員】

「先駆性に係る取組」の「(1)自立性」の「3～5年以内の自立化の見込み」で回答した選択肢をお選びください。

実施計画に記載された自立化の見込み

<凡例：選択肢>

① あり
② なし

4-1. 設問4で「あり(①)」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

本事業終了の翌年度における、事業運営コスト (投資に係る支出は除く) に占める事業収入の割合・一般財源の割合をそれぞれ概算でお聞かせください。

事業収入の割合	一般財源の割合

注) 事業収入とは、事業の実施に伴って得られる収入 (商品・サービスの売上、施設利用料、企業等からの協賛金など) を指します。

<凡例：選択肢>

① 10割またはそれ以上	④ 7割	⑦ 4割	⑩ 1割
② 9割	⑤ 6割	⑧ 3割	⑪ 0割
③ 8割	⑥ 5割	⑨ 2割	

4-2. 設問4で「あり(①)」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。実施計画に記載された自立化の見込みは、当初の見込みどおりに進捗しているかについて、お選びください。

また、上回った・下回った理由についてもご記載ください。

令和4年度事業を踏まえた自立化の進捗	理由

<凡例：選択肢>

① 見込みを上回って自主財源等確保	② 見込みどおり自主財源等確保	③ 見込みを下回って自主財源等確保	④ 自主財源等確保の自処はたっていない
-------------------	-----------------	-------------------	---------------------

4-3. 設問4で「あり(①)」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。今後交付金対象事業期間が終了した後に事業を自立化していくにあたり、主たる事業推進主体の属性をご回答ください。

注) 「行政」については、民間事業者委託・指定管理を行うことも含みます。

「公共的団体等」には公共的団体 (特殊法人、公共法人、公益法人、協同組合等) 及び、国または自治体が一定程度以上出資している法人を指します。

主たる事業推進主体の属性	その他 (下記に記載)

<凡例：選択肢>

① 行政	② 民間	③ 公共的団体等	④ その他
------	------	----------	-------

○自立化の課題【全員】

5. 令和4年度事業を踏まえて、事業の自立化に向けて課題と感じていることを選択肢よりお選びください。(最大3つ)  
 選択いただいた課題の解決有無と、その解決方法(現状未解決の場合は解決策)を、可能な範囲で具体的に記載ください。  
 また、解決策を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的に記載ください。(例:「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など)  
 ※「別紙」選択肢シートの凡例より選択ください。

	課題	解決の有無	解決策(または解決案)
課題1	⑤人材の確保(事業実施主体での事業経営や技術ノウハウ等専門的知識を有する人材(外部人材含む)の確保)	②現状未解決	
課題2	②資金調達(事業収入・協賛金などの確保)	②現状未解決	
課題3			

D. 事業の実施状況

○事業実施時に留意した項目【全員】

6. 貴団体が本事業を実施するにあたって留意した項目について、実施有無を3段階評価の選択肢よりお選びください。  
 また、各項目の取組内容について、「事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)」についても、お聞かせください。  
 (注)各項目の詳細は、内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」総論-Ⅲ.事業化プロセス編に記載していますので、必要に応じてご参照ください。

【事業アイデア・事業手法の検討段階】

設問	3段階評価	事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)
ア. 地域住民や利害関係者との話し合いを通じて課題やニーズを明確化している	②概ね実施した	<input type="checkbox"/>
イ. 定量的・客観的な分析を通じて地域の実態やニーズを捉えている	①確実に実施した	<input type="checkbox"/>
ウ. 地域の特徴ある資源や強みを活用している	②概ね実施した	<input type="checkbox"/>
エ. 事業手法の検討に外部人材・知見を活用している	①確実に実施した	<input type="checkbox"/>
オ. 異なる分野の政策を組み合わせた事業とするため、団体内の複数部局や様々な分野の民間企業と連携している	③実施していない	<input type="checkbox"/>
カ. スケールメリットや人材・ノウハウ融通のため、複数の地域間で連携している	③実施していない	<input type="checkbox"/>
キ. 事業実施体制の構築において、地域の企業・団体等の既存組織・ネットワークを活用している	①確実に実施した	<input type="checkbox"/>
ク. 関係者の役割・責任について明確化している	③実施していない	<input type="checkbox"/>

<凡例：選択肢>

①	確実に実施した
②	概ね実施した
③	実施していない

「事業アイデア・事業手法の検討段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

地域のコンセプトを明確にし、コンセプトに沿った課題等を洗い出すとともに、主観ではなくデータに基づき強みや課題を分析した。分析においては外部の有識者をアドバイザーを置くことで専門性を高めた。

【事業の具体化段階】

設問	3段階評価	事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)
ケ. 資金調達の方法や事業採算性など事業が継続性をもって自走していくことのできるプロセスを明確化している	③実施していない	<input type="checkbox"/>
コ. 経営視点からの検証のため、事業実施経験のある人材を活用している、または知見ある外部専門家から助言を受けている	①確実に実施した	<input type="checkbox"/>
サ. 事業終了までの詳細な工程計画(四半期単位、月単位等)を策定している	③実施していない	<input type="checkbox"/>
シ. 事業と直接性があり、客観的な成果を表すKPIを選定し、妥当な水準の目標値を設定している	②概ね実施した	<input type="checkbox"/>

<凡例：選択肢>

①	確実に実施した
②	概ね実施した
③	実施していない

「事業の具体化段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

事業の継続性については、委託団体と協議を行っており、専門人材の確保を行った。本事業は分析に基づき次年度の方針を決定するものであるため工程計画の詳細は前年度事業実施後に行っている。

【事業の実施・継続段階】

設問	3段階評価	事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)
ス. 事業実施主体間で定期的にコミュニケーションを行っている	③実施していない	<input type="checkbox"/>
セ. KPIの進捗について定期的に管理している	③実施していない	<input type="checkbox"/>
ソ. 庁外に担い手となるキーパーソンや、事業を継続的に進めていくマンパワーを確保している	③実施していない	<input type="checkbox"/>
タ. 事業の目的・目標や生じつつある効果等の現状、事業がもたらすメリットについて情報発信し、事業実施に対する納得感を醸成している	③実施していない	<input type="checkbox"/>
チ. 地域住民・事業者や利害関係者が事業の推進や改善に参加できる仕組みをつくっている	③実施していない	<input type="checkbox"/>

<凡例：選択肢>

①	確実に実施した
②	概ね実施した
③	実施していない

「事業の実施・継続段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

【事業の評価・改善段階】

設問	3段階評価	事業実施や事業計画に反映したか(反映した場合は「○」)
ツ. 外部組織や議会等により事業の効果を多角的に評価検証している	③実施していない	<input type="checkbox"/>
テ. KPIの達成状況を定期的に確認し、未達成の場合はその要因を分析している	③実施していない	<input type="checkbox"/>
ト. 事業の評価を踏まえて対応策を決定し、実行に移している	①確実に実施した	<input type="checkbox"/>
ナ. 事業の改善方針について次年度以降の事業計画に反映している	①確実に実施した	<input type="checkbox"/>

<凡例：選択肢>

①	確実に実施した
②	概ね実施した
③	実施していない

「事業の評価・改善段階」において、上記の「事業実施や事業計画に反映した」に「○」と回答した事項について、具体的に事業実施や事業計画等に対しどのように反映したかご記載ください。

本事業のスキームが、前年度の分析を基に課題解決に向け内容の精査を行うものであるため、外部の有識者にデータを共有しつつ課題等について精査し、次年度事業に反映させている。

○政策間連携 【全員】

7. 貴団体がやっている政策間連携について、連携している分野をお選びください。（最大3つ）  
また、政策間連携に関して、特に工夫した内容がある場合は併せてご記載ください。

連携している政策分野（最大3つ）	特に工夫した内容
1 ⑩なし	
2	
3	

<凡例：選択肢>

① 農林水産分野	③ ローカルイノベーション分野	⑤ 人材分野	⑦ ワークライフバランスの実現等	⑨ コンパクトシティ等
② 観光分野	④ 生産活躍のまち分野	⑥ 若者雇用対策	⑧ 小さな拠点分野	⑩ なし

○政策立案の方法 【全員】

8. 貴団体が政策（本事業）を立案するにあたって留意した項目について、お聞かせください。（○はい/つでも）

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> ア. 政策の企画立案に当たり、解決課題を発見するため、統計情報（RESAS・V-RESAS、e-STATに掲載されている政府統計等）を活用した（KPIの設定や検索を目的とした活用を除く） | <input type="checkbox"/> オ. 解決課題の選定にあたり、その課題が行政が解決すべき課題か確認を行った                |
| <input type="checkbox"/> イ. 解決課題を発見するため、定期的に現場に赴いて、住民の意見を聞いた   | <input type="checkbox"/> カ. 政策手段の検討にあたり、情報収集（集いへの参加、専門誌や情報誌の確認、類似事例の調査など）を行った |
| <input type="checkbox"/> ウ. 解決課題の検討にあたり、地域の実態やニーズの把握を目的とした現地訪問調査を実施した  | <input type="checkbox"/> キ. 政策手段の検討にあたり、類似した取り組みを行っている自治体などへの現地視察を行った         |
| <input checked="" type="checkbox"/> エ. 解決課題の検討にあたり、地域の実態やニーズの把握を目的としたアンケート調査を実施（または既存の結果の活用）した                         | <input type="checkbox"/> ク. 政策手段の選定にあたり、有効性・経済性・効率性の詳細な検討を行った                 |

8-1. 設問8で「ア. 政策の企画立案に当たり、解決課題を発見するため、統計情報（RESAS・V-RESAS、e-STATに掲載されている政府統計等）を活用した（KPIの設定や検索を目的とした活用を除く）」を選択した場合には、具体的に活用したデータ（及びデータベース）をお聞かせください。（○はい/つでも）

また、活用したデータ（及びデータベース）について、それぞれどのように活用したか、ご記載ください。

データ（及びデータベース）の活用有無	詳細（ウ・エ・オでどのようなデータを活用したか）	活用方法（どのようにデータを活用したか）
<input type="checkbox"/> ア. RESAS		
<input type="checkbox"/> イ. V-RESAS		
<input type="checkbox"/> ウ. e-STATに掲載されている政府統計等		
<input type="checkbox"/> エ. オルタナティブデータ		
<input type="checkbox"/> オ. その他（地域独自の統計調査やアンケート調査等）		

8-2. 事業の進捗状況を確認する手法について、どのような手法を採用していますか。

- 事業の進捗状況を把握するための関係者の会合を定期的で開催している。  
該当する場合、どの程度の頻度で開催しているか、選択してください。
- 事業の進捗状況を把握するための客観的な指標（例えば「レストランの売上高」等）を設定して、モニタリングしている。  
該当する場合、具体的な指標名、確認の頻度、活用方法について、ご記載ください。

<凡例：選択肢>

① 1カ月に1回以上	③ 半年に1回程度
② 2、3カ月に1回程度	④ 1年に1回程度

具体的な指標名	確認の頻度	活用方法

その他の方法を採用している。※具体的な方法について、下記にご記載ください。

8-3. 政策立案を行う上で、収集に困っている、または必要だが入手できていないデータがあれば、ご記載ください。（例：○○のデータがあれば○に活用できるため提供してほしい。）

○事業実施体制 【全員】

9. 貴団体の事業実施体制についてお聞かせください。※その他を選んだ場合は、自由記載欄に詳細をご記載ください。

組織体制	担当職員配置状況【単位：人】
① 専門部署（課・室）を設置	地方創生専従職員
	他業務との兼務職員
	1

<凡例：選択肢>

① 専門部署（課・室）を設置
② 企画担当部署で対応
③ その他（下記に状況を記載）

9-1. 現在行っている業務についてお聞かせください。（○はい/つでも）

主な業務内容（下記より該当するものをお選びください※複数選択可）	
事業運営に係る発注・物品調達や申請手続等の各種調整業務	<input type="checkbox"/>
事業実施に係る相談対応	<input checked="" type="checkbox"/>
イベント等開催に係る支援（職員派遣など）	<input type="checkbox"/>
事業者等の事業推進主体への職員派遣	<input type="checkbox"/>
マーケティングリサーチ支援や各種データの提供等に係る支援	<input type="checkbox"/>
その他（下記に概要を記載）	<input type="checkbox"/>

○官民連携の状況 【全員】

10. 民間との連携の内容について、下記区分（産・学・金・労・言・士・その他）ごとにお選びください。※その他の場合は、自由記載欄に詳細を記載の上、ご記載ください。

連携内容	産業界	大学	金融機関	労働団体	言論界	士業	その他※自由記載
② 協議会への参加		⑤ 連携なし					

注）その他：NPOや地域づくり団体等、地域の活性化に取り組む団体を想定。

<凡例：選択肢> 貴団体との連携内容 ※複数ある場合は上位を選択

① 事業主体として参画	② 協議会への参加	③ 個別相談・打合せの実施	④ その他	⑤ 連携なし
-------------	-----------	---------------	-------	--------

10-1. 特に事業をけん引する外部団体・人材がいれば、事業推進に当たって果たした役割についてご記載ください。

日田市観光協会：本事業の委託先。専門人材を確保している。

○住民理解度 【全員】

11. 本事業の結果や外部有識者等会議の結果を地域住民に公表しているかどうかについて、お聞かせください。

結果の公表有無	<凡例：選択肢>	
② 公表していない	① 公表している	② 公表していない

12. 本事業の結果や外部有識者等会議の結果を地域住民に周知しているかどうかについて、**事業開始前ならびに事業開始後**における各手法の実施有無をお聞かせください。(〇はいくつでも)  
(会議形式の場合は、本事業を議題として取り上げたもの、広報媒体形式の場合は、本事業の内容や結果を定期的に発信しているものについてお聞かせください。)

<周知手法(会議形式)> ※対面・オンラインを問わない

【事業開始前】

手法の実施有無	累積開催数(回)	累積傍聴者数(人) ※把握している場合のみ
<input type="checkbox"/> ア. ワークショップ	_____回	_____人
<input type="checkbox"/> イ. 公聴会	_____回	_____人
<input type="checkbox"/> ウ. 検討会	_____回	_____人
<input type="checkbox"/> エ. 説明会	_____回	_____人

【事業開始後】

手法の実施有無	累積開催数(回)	累積傍聴者数(人) ※把握している場合のみ
<input type="checkbox"/> ア. ワークショップ	_____回	_____人
<input type="checkbox"/> イ. 公聴会	_____回	_____人
<input type="checkbox"/> ウ. 検討会	_____回	_____人
<input type="checkbox"/> エ. 説明会	_____回	_____人

<周知手法(広報媒体形式)>

【事業開始前】

手法の実施有無	詳細(その他の場合のみ自由記載)
<input type="checkbox"/> カ. ホームページ	該当ページの総閲覧数: _____
<input type="checkbox"/> キ. 回覧板	
<input type="checkbox"/> ク. SNS	フォロー数: _____ 閲覧数: _____
<input type="checkbox"/> ケ. 自治体広報	
<input type="checkbox"/> コ. 独自アプリ	
<input type="checkbox"/> サ. その他	_____

【事業開始後】

手法の実施有無	詳細(その他の場合のみ自由記載)
<input type="checkbox"/> カ. ホームページ	該当ページの総閲覧数: _____
<input type="checkbox"/> キ. 回覧板	
<input type="checkbox"/> ク. SNS	フォロー数: _____ 閲覧数: _____
<input type="checkbox"/> ケ. 自治体広報	
<input type="checkbox"/> コ. 独自アプリ	
<input type="checkbox"/> サ. その他	_____

- 12-1. 設問11で「②公表していない」と回答いただいた方のみ、理由を以下にご記入ください。

公表「する」「しない」あるいは「しなければならない」等の方針が定まっていないため。

E. 効果検証

○議会または外部組織による効果検証 【全員】

13. 議会による効果検証の有無、及び外部組織による効果検証の有無と本事業の評価について、お聞かせください。

議会による効果検証の有無	議会による本事業の評価	議会からの事業に対するフィードバックがあれば、内容をご記載ください。
<input type="checkbox"/> ①実施した	①本事業の内容がKPI達成に有効であった、との意見	

外部組織による効果検証の有無	外部組織による本事業の評価	外部組織からの事業に対するフィードバックがあれば、内容をご記載ください。
<input type="checkbox"/> ①実施した	①本事業の内容がKPI達成に有効であった、との意見	

<凡例: 選択肢>

<input type="checkbox"/> ① 実施した
<input type="checkbox"/> ② 実施予定
<input type="checkbox"/> ③ 実施しない(予定)

<凡例: 選択肢>

<input type="checkbox"/> ① 本事業の内容がKPI達成に有効であった、との意見
<input type="checkbox"/> ② 本事業の内容がKPI達成に有効とは言えない、との意見

- 13-1. 設問13で議会または外部組織による効果検証のいずれかを「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

貴団体もしくは貴団体が効果検証を委託している団体が、効果検証を行うにあたって実施した項目について、お聞かせください。(〇はいくつでも)

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> ア. 事業の状況及び現状の課題を把握している    | <input type="checkbox"/> オ. 適切な分析手法を検討し選択している                | <input type="checkbox"/> ケ. 対応策や新計画の実施を行っている |
| <input type="checkbox"/> イ. 計画との比較を行っている           | <input type="checkbox"/> カ. 統計データ等の証拠から、定量的・客観的に地域の課題を把握している | <input type="checkbox"/> コ. 定量的な分析結果を公表している  |
| <input type="checkbox"/> ウ. 課題の優先順位付けを行っている        | <input type="checkbox"/> キ. 阻害要因について対応策を検討している               |  |
| <input type="checkbox"/> エ. 事業における原因・阻害要因を明らかにしている | <input type="checkbox"/> ク. 新計画を立てている                        |  |

- 13-2. 設問13で議会または外部組織による効果検証のいずれも「③実施しない(予定)」と回答いただいた方のみ、理由を以下にご記載ください。

\_\_\_\_\_

○効果検証に関する工夫

14. 設問13で「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

議会または外部組織による効果検証の実施に当たり、特に効果があったと感じられる工夫がある場合は以下にご記載ください。

\_\_\_\_\_

- 14-1. 設問13で「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

議会または外部組織による効果検証を通じた、事業の実施状況の見直しについて、お聞かせください。

効果検証を通じた事業見直しの状況
<input type="checkbox"/> ①効果検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている

<凡例: 選択肢>

<input type="checkbox"/> ① 効果検証において「改善が必要」との指摘はなく、事業は適切に実施されている
<input type="checkbox"/> ② 効果検証において「改善が必要」との指摘があり、適切な改善を図っている
<input type="checkbox"/> ③ 効果検証において「改善が必要」との指摘があったが、現状では適切な改善が図られていない

- 14-2. 設問13で「①実施した」と回答いただいた方のみ、お聞かせください。

議会または外部組織による効果検証の実施に当たり、上記以外でどのようなデータを収集・活用したか、その分析手法を選択した上で可能な範囲で詳細にご記載ください。  
(例: KPI以外の指標の進捗、市民アンケートによる効果の把握など)

分析手法	具体的な内容
<input type="checkbox"/> ④実施していない	

<凡例: 選択肢>

- ① 定量分析(KPI除く)と定性分析を実施している     ② 定量分析(KPI除く)を実施している     ③ 定性分析を実施している     ④ 実施していない

○効果検証におけるデータ(及びデータベース)の活用 【全員】

15. 効果検証を行う上で、具体的に活用したデータ(及びデータベース)があれば、お聞かせください。(〇はいくつでも)

また、活用したデータ(及びデータベース)について、それぞれどのように活用したか、ご記載ください。

注) オルタナティブデータとは、IT技術とともに、位置情報やクレジットカード情報等を活用して、リアルタイムで把握され、定期的に提供されるデータを指します(V-RESASは含みません)。

データ(及びデータベース)の活用有無	詳細(ウ・エ・オでどのようなデータを活用したか)	活用方法(どのようにデータを活用したか)
<input type="checkbox"/> ア. RESAS		
<input type="checkbox"/> イ. V-RESAS		
<input type="checkbox"/> ウ. e-STATに掲載されている政府統計等		
<input type="checkbox"/> エ. オルタナティブデータ		
<input type="checkbox"/> オ. その他(地域独自の統計調査やアンケート調査等)		
<input type="checkbox"/> カ. 活用していない		

○交付金事業を進める中での課題・苦勞、及びそれに対する取組の修正・改善 【全員】

16. 令和4年度の事業を進める中で特に苦勞したことや課題だと感じたことを上位から順に最大で3つまで、お選びください。

特に苦勞したこと（3つまで） （特になければ空欄）	⑦庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成

<凡例：選択肢>

① 事業推進体制の検討
② 事業経営や技術ノウハウを有する人材の確保・育成
③ ビジネスモデル・資金繰りの検討
④ 事業実施場所（施設・設備）の検討
⑤ 規制・許認可への対応

⑥ 庁内・組織内（幹部、原課、財政課等）との調整・合意形成
⑦ 庁外・組織外（地域内・地域外の事業者、住民）との調整・合意形成
⑧ 連携先の地方公共団体との調整・合意形成
⑨ データの収集
⑩ その他（例：予期せぬ外部環境変化が起こった、等）

※⑩については、広域事業の場合のみ、選択ください。

「⑩その他」を選択した場合は、その内容を具体的に記載ください。

16-1. 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。

設問16の課題・苦勞で1番目に回答した内容に対応して、取組を進めながら修正・改善を行われた場合、もしくは解決できた場合、その内容について、可能な範囲で具体的に記載ください。また、改善対策案を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的に記載ください。（例：「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など）  
注）事業実施計画の申請時点での想定との相違点に対し、事業の実施中（令和4年度内）において、修正・改善により取組を前進させた点をお聞かせください。

16-2. 設問16を回答いただいた方のみ、お聞かせください。

設問16の課題・苦勞として回答した内容について、現状まだ修正・改善が行われていない場合、今後の改善対策案の内容について、可能な範囲で具体的に記載ください。また、改善対策案を検討するにあたって参考とした情報についても、可能な範囲で具体的に記載ください。（例：「地方創生事業実施のためのガイドライン」、「地方創生関係交付金の活用事例集」など）  
注）事業実施計画の申請時点での想定との相違点に対し、今後対応する予定の修正・改善案をお聞かせください。

## II. その他

○交付金事業の成功要因 【全員】

17. 本事業の成功要因について、実施した工夫（及びその特徴）とともにお聞かせください。（上から重要な順に最大3つ）

事例の成功要因	③複数担当者による事業の推進
実施した工夫及びその特徴	行政や、委託先の専門人材及び外部のアドバイザーとともに分析を行うことにより、より多角的に専門性の高い分析が可能となった。
事例の成功要因	
実施した工夫及びその特徴	
事例の成功要因	
実施した工夫及びその特徴	

<凡例：選択肢>

① 推進力のある事業主体の形成
② 部署横断的なコミュニケーションの密な実施による意識の醸成
③ 複数担当者による事業の推進
④ 民間活力を軸とした官民（民意）協働の推進
⑤ 高度で実効性のある効果検証による強靱な事業運営
⑥ 地域間連携の充実
⑦ 政策間連携の充実
⑧ 事前の調査、分析による課題の明確化と事業の目指すべき方向付け
⑨ 課題の優先順位付けを行い、適切な順序で方策を検討
⑩ 適切なKPIの設定
⑪ 魅力的な地域資源の活用
⑫ 高い自立性の確保
⑬ 専門的知見を持った外部人材の活用/ 外部人材が活躍しやすい環境整備
⑭ 地域人材の育成による事業の自立性、継続性の担保
⑮ 地域住民の理解と参画、地域ぐるみの機運の醸成
⑯ データの活用（RESAS-V-RESAS、e-STATに掲載されている政府統計等）
⑰ その他

17-1. 「地方創生関係交付金の活用事例集」の掲載事例として、本事業を取り上げるべきかについて、お聞かせください。

事例の自己推薦	⑤特に推薦しない
---------	----------

<凡例：選択肢>

① 計画を上回る大きな効果を生じた事業として推薦する
② 課題解決のための取組内容が他団体の参考となるため推薦する
③ 課題や苦勞が他団体への示唆に富むため推薦する
④ その他の理由により推薦する
⑤ 特に推薦しない

○新型コロナウイルス感染症の影響 【全員】

18. 新型コロナウイルス感染症による事業への影響度と事業の進捗状況について、事業への影響度や今後の方針を選択した上で可能な範囲で詳細に記載ください。

事業への影響度	具体的な内容
①多大な影響を受けている	本事業は旅中での調査事業であるため、コロナ禍を要因とする旅行形態の変化や旅行者の居住地等の影響を受けやすい。
注）新型コロナウイルス感染症による事業環境悪化だけでなく、事業環境改善につながった場合についても記載ください。	
<凡例：選択肢> ① 多大な影響を受けている ② 一定程度の影響を受けている ③ 影響を受けていない	
コロナを踏まえた本事業の今後の方針	具体的な内容
①事業を継続（コロナ禍においても計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続する））	1年目の分析を反映し、観光素材の商品化やサービスの開発を図る。
<凡例：選択肢>	
① 事業を継続（コロナ禍においても計画通りに事業を継続する（または、概ね同内容で継続する））	④ 事業の縮小（コロナの影響に伴い事業を縮小する）
② 事業の発展（コロナ禍という環境に適切し、取組の更なる発展や新しい試みを行う（または、行った））	⑤ 事業の中止（継続的な事業実施を予定していたがコロナの影響で踏ま中止する（または、した））
③ 事業の改善（コロナ禍に伴い事業の効果が見込みを下回ったことから見直し（改善）を行う（または、行った））	⑥ 事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

18-1. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらもKPIを達成するために取り組んだ工夫等ございましたら、ご記載ください。

○フィードバックレポートに関する意見・要望 【全員】

19. デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生推進交付金）事業実施結果について、全国の地方公共団体により報告された「地方創生推進交付金事業実施報告（様式1）」の集計・分析を実施し、フィードバックレポートとしてお知らせしております。フィードバックレポートについてのご意見・ご要望がありましたら、ご記載ください。

○ガイドライン、事例集に関する意見・要望 【全員】

20. 内閣府から公表している「地方創生事業実施のためのガイドライン」や「地方創生関係交付金の活用事例集」についてのご意見・ご要望がありましたら、ご記載ください。

○自己点検チェックシートの活用状況 【全員】

21. 本事業を推進するにあたり、内閣府より各地方公共団体に通知された「デジタル田園都市国家構想交付金（旧地方創生推進交付金）を活用した事業を継続的に進めるための自己点検シート」を活用したか（自己点検を実施したか）お聞かせください。「②活用していない」と回答いただいた方は活用しなかった（自己点検を実施しなかった）理由について、ご記載ください。（「①活用した」と回答した場合は、理由は記載不要）

自己点検チェックシートの活用有無	自己点検チェックシートを活用していない理由 ※「②活用していない」と回答した方のみ、回答ください
①活用している	
<凡例：選択肢>	① 活用している ② 活用していない

○定量的なデータの活用（データベース、データの取得や有効活用）に際しての更なる改善 【全員】

22. 設定したKPI以外で、本事業の効果を定量的に把握している場合、その内容をご記載ください。あわせて、定量的な把握において、RESASなどに追加してほしいと考えているデータがありましたらご記載ください。

観光宿泊客数、観光日帰り客数
----------------

○交付金額の増額申請について 【全員】

23. (令和5年度の申請を含めて) これまで交付金事業を実施している期間中に、当初計画額から増額申請をしたことがありますか。  
ある場合は、直近の増額申請の主な理由を選択ください。

※複数該当する場合は、最も当てはまるものを1つ選択してください。

増額申請の有無	直近の増額申請の主な理由	「⑦その他」を選択した場合は、その内容を具体的にご記載ください。 また増額申請の主な理由について補足がありましたらご記載ください。
②いいえ		

<凡例：選択肢>

① はい	① KPIが達成見込みであり、さらに取組を加速させるための増額	④ 外部有識者から意見があり事業を見直したことによる増額	⑦ その他
② いいえ	② 事業を推進するうえで、当初計画していなかった追加費用が生じたことによる増額	⑤ 事業内容を抜本的に変更したことによる増額	
	③ 新型コロナウイルス感染症の影響によるコスト増加のための増額	⑥ 資材費高騰などのやむを得ない増額	

23-1. 令和6年第1回募集回も継続予定の事業のみご回答ください。

令和6年第1回募集回の申請において、増額申請をする予定（可能性）がありますか。

増額申請の予定（可能性）	<凡例：選択肢>
②いいえ	① はい ② いいえ

**以上で全て終了です。**